

AMAKARA 塾

地域の人たち（幼児）の農作業体験

AMAKARA塾とは

- ▶ 平成元年に、**甘いも辛い**も混ぜながら、**海部地域から**全国に向けて、当地域らしさを発信していこうという思いで発足した地域づくりの自主グループ。
- ▶ 主に貸農園、保育所・幼稚園の自然体験、コミュニティ事業への参画。
- ▶ 道楽 7 割、社会貢献 3 割の気持ちで活動をしている。



事業のねらい

- ▶ 幼児（保育所児）にとって食育は大切である。自分たちで収穫した野菜を家に持ち帰り、食材として活用しながら家族との会話を弾ませることを促進させる。また、圃場周辺の畑、柑橘類園、ビオトープなどで自然体験をする。



さつまいもの畝づくり



保育所児 さつまいも苗植え



保育所児 玉ねぎ収穫



保育所児 ニワトリ観察



保育所児 さつまいもの水やり



保育所児 ジャがいも収穫



保育所児 ビオトープで遊ぶ



脇に出た蔓切り



保育所児 さつまいもの花を発見



保育所児 葉っぱの色の違いに気づく



保育所児 さつまいも収穫



保育所児 さつまいもの蔓で縄跳び



事業の効果

- ▶ 幼児（保育所児）が自然と触れ合いのびのびと遊びながら、さつまいもの苗植え、収穫をとおして生育の過程を理解した。その他の野菜収穫や柑橘類の収穫も体験した。収穫したさつまいもなどは家に持ち帰り、家族の話題とし、食育効果を高めた。また、鶏、鯉、川エビなどの生態に身近に触れることができた。
- ▶ 様々な体験を通して、“センス・オブ・ワンダー”（自然の中で不思議と感じる心）を刺激することに役立った。
- ▶ AMAKARA塾がイベントでブースを出したときに、幼児たちが「AMAKARA塾のおじさん」と声をかけてくれることで地域内の交流促進にもなった。